



十日町市・コモ市

姉妹都市提携 50 周年記念誌



50° anniversario
del gemellaggio
Como Tokamachi.

半世紀の輝き 未来への羅針盤 十日町とコモ 友情の 50 周年



この度、私たち十日町市民が心から尊敬し、深い友情で結ばれているイタリア共和国コモ市との姉妹都市提携 50 周年という記念すべき日を迎えられましたこと、両市の市民を代表し、心より感謝申し上げます。長きにわたり温かいご支援とご厚情を賜りましたコモ市の皆様に、深く御礼申し上げます。

今から半世紀前、両市は「織物」という共通の文化を基盤とし、固い絆を結びました。十日町の「きもの」とコモの「絹織物」。遠く離れた地でありながら、繊維産業を核とする歴史と伝統が私たちを結びつけ、今日まで素晴らしい友情を育んでまいりました。この 50 年という歳月は、単なる時間の経過ではなく、相互理解と尊敬を深めてきた、かけがえのない歴史であります。

この間、私たちは数々の交流事業を通じて、様々な絆を築いてまいりました。未来を担う若者たちの交換留学事業では、言葉の壁を越え、互いの文化や生活習慣に触れることで、生涯にわたる友情が芽生えました。また、伝統的な染織技術やデザインに関する専門家同士の交流は、互いの技術と知識を尊重し、新たな発想を生み出す貴重な契機となりました。両市で開催された文化イベントでは、美しい風景や食、芸術を通じて、市民レベルでの温かい交流が実現し、多くの方々が異文化の素晴らしさに触れることができました。これらの交流一つひとつが、両市の絆をより強固なものにしてきたと確信しております。

そして、両市に民間交流団体が発足し、民間レベルでの交流が発展してきたこともこの 50 年の大きな成果であり、この流れが今後も続いていくことを願っております。

長年にわたり十日町市とコモ市の交流を支えてくださった全ての方々に、心より感謝申し上げますとともに、来るべき次の 50 年に向けて、この素晴らしい姉妹都市交流関係を次世代へと継承すべく尽力してまいります。

結びに、コモ市のさらなる発展と、両市の友好関係が末永く続くことを心から祈念し、巻頭のあいさつといたします。

十日町市長 関口 芳史

コモ市と十日町市

未来を展望する絆



2025 年（令和 7 年）に祝われたコモ市と十日町市の姉妹都市提携 50 周年は、1975 年以来、友情、対話、相互尊重の精神のもとで両市を結びつけてきたこの関係について、改めて振り返る重要な機会となりました。

地理的には遠く離れていながらも、価値観を共有する両市の間に懸け橋を築きたいという想いと、両市の共通の伝統である「絹織物」から始まったこの絆は、行政機関、学校、民間団体、そして市民の交流を通じて長年にわたって深まり、真の永続的な相互理解を育むことに貢献してきました。

本紙は、50 年にわたる交流の中で共に歩んできた道のりを物語るものであると同時に、姉妹都市提携の始まりから一貫して受け継がれてきた協力の精神を胸に、これからの未来へと目を向けるために作成されました。

コモ市を代表して、十日町市及び長年にわたりこの貴重な関係を育むために尽力して下さった全ての方々に、心からの感謝を申し上げます。文化、対話、そして相互理解が、両市の強固な関係を築いていくための礎であり続けるものと確信しています。

このような願いを込めて、十日町市の皆さまに心からのご挨拶を申し上げるとともに、今後とも私たちの友情がさらに深まっていくことを願っています。

コモ市長 アレッサンドロ・ラビネーゼ

姉妹都市提携 50 周年

友好の歩み

1973 年（昭和 48 年）

9 月 2 日～6 日 絹織物親善使節団がコモ市を訪問
昭和 47 年末、十日町市の織物組合青年部から「十日町市のきもののイメージを国際的に高めるために外国の都市と姉妹都市提携をしては」と提案がありました。

候補としてイタリア、イギリス、フランスなどから数多くの都市が上げられましたが、産業・風土・人口などが似ており、織物のまち十日町市のイメージに合致したイタリア共和国コモ市が選ばれました。

織物組合青年部の使節団(15 人)がコモ市を訪問し、コモ市当局やコモ輸出組合、商工会議所、観光協会などの代表者と姉妹都市提携について話し合いが行われるとともに、温かい歓迎を受け、歴史や文化、産業に魅了され帰国しました。



コモ市内を視察する織物組合青年部一行

1974 年（昭和 49 年）

2 月 9 日～10 日 コモ市使節団が来市

第 25 回十日町雪まつりの見学にコモ市使節団が来市しました。アティリオ・アレグリー市長代理が雪上カーニバル舞台「白いメルヘン」で、コモ市長からのメッセージを披露しました。

同年 9 月 17 日には、十日町市議会で姉妹都市提携が可決され、11 月 22 日には、コモ市議会でも姉妹都市提携が議決されました。



カーニバル舞台「白いメルヘン」でコモ市長代理が挨拶

1975 年（昭和 50 年）姉妹都市提携の開始

2 月 17 日 コモ市の少女が文通を希望

十日町市とコモ市が姉妹都市となることを地元の新聞で知った 9 歳の少女ラウラ・クレリーチさんから、「ペンパル（文通友達）として私と同年の十日町市の子どもを紹介してください」という手紙が春日市長に届きました。



式典でラウラさんに十日町小学校児童の手紙や版画・習字作品をプレゼント

2月26日～28日

姉妹都市提携調印使節団がコモ市を訪問

春日市長を団長とする使節団がコモ市を訪問しました。

27日午前10時よりコモ市議会議場で姉妹都市提携調印式典が行われ、春日市長、スパリーノ市長が盟約書に署名し、待望の交流がスタートしました。

10月3日 東京で友好パーティーを開催

コモ織物物産展（コモ輸出組合主催）が9月29日から10月5日まで東京と大阪で開かれました。春日市長をはじめ、関係者が物産展を訪れ、十日町市主催の友好パーティーで絆を深めました。



盟約書に署名する春日市長とスパリーノ市長

姉妹都市盟約書

イタリア国コモ市と日本国十日町市、ここに姉妹都市として、提携することを盟約する。
両市は相互に文化、産業、経済の交流を図るとともに友情と理解を深めることを念願し、
ひいては、これが世界平和と人類の福祉に貢献することを確認し、この姉妹都市提携を行う。

1975年2月27日

日本国 十日町市長 春日 由三
イタリア国 コモ市長 アントニオ・スパリーノ

1977年（昭和52年）

絹織物親善使節団がコモ市を訪問

きものの産地である十日町市、およびその他のきもの生産地の絹織物業者合同の使節団がコモ市を訪問しました。庁舎議場で歓迎式典が執り行われ、コモ輸出組合、商工会議所、企業組合などの代表者と懇談し、商業、文化両面での協力について話し合われました。



メッセージを依頼されるカメリーニ神父

1980年（昭和55年）5周年記念

4月 カメリーニ神父にコモ市長へのメッセージを依頼
天使幼稚園長のライモンド・カメリーニ神父が一時帰国する際、諸里市長からスパリーノ市長にあてた「両市の文化・経済・産業の交流を深めること、友情と理解を深めることを切に願います」というメッセージが手渡されました。

6月24日 カメリーニ神父がコモ市長からの返書を持参
カメリーニ神父がイタリアから戻り、スパリーノ市長から諸里市長に宛てた文書が届く。文書には「市長就任お祝い申し上げます。友情の絆をますます堅固なものとし、お互いに両市を訪問する機会を設けたいと強く望んでいます」と記載されていました。



返書を受け取る諸里市長



5周年記念式典の様子

10月23日～25日 5周年親善使節団がコモ市を訪問
諸里市長を団長とする使節団がコモ市を訪問し、24日に市議会議場で5周年記念式典が行われました。
フルダ市(旧西ドイツ)のウオルフガン・ハムベルガー市長が来賓として列席し、スパリーノ市長から若者同士の交流についての提案がなされました。

1981年(昭和56年)

5月9日～13日 コモ市5周年親善使節団が来市
スパリーノ市長を団長とする使節団が来市
11日、庁舎議場で5周年記念式典が行われ、諸里市長、スパリーノ市長が青少年交流を中心に姉妹関係を深めていくことを確認しました。
式典後には、十日町商工会議所で十日町ロータリークラブ(大島敬策会長)とコモロータリークラブ(チェザーレ・マッテウッチ会長)の姉妹ロータリー提携調印式が行われました。



茶道を体験するコモ使節団



ラウラ・クレイチさん 木内聡子さん

コモ市親善使節団には1975年に春日市長に手紙を送った少女、ラウラ・クレイチさんも参加しました。

◀ついに対面できたペンパルのラウラさんと木内さん

1982年(昭和57年)

8月24日～29日、第1回青少年親善使節団がコモ市を訪問しました。

1983 年（昭和 58 年）

5 月 27 日～30 日

スパリーノ市長より、「ヨーロッパ抵抗運動記念碑」除幕式への招待を受け、諸里市長夫妻が参列しました。

除幕式は 28 日、サンドロ・ペルチーニ大統領の手により行われ、碑文にはコモ市の配慮により日本語が併記されました。

碑文：「第 2 次世界大戦中にヨーロッパで活動し
処刑された反戦運動家を祈る諸国間の平和の印と
して建立する」



除幕式に参加する諸里市長夫妻

8 月 23 日～26 日 第 1 回コモ市青少年親善使節団が来市

パオロ・ジョビオ高校のジョバンニ・アノーニ校長を団長とする青少年親善使節団が来市
ホームステイを行い、諏訪まつりに浴衣姿で参加し、市民との交流を広げました。

1984 年（昭和 59 年）

9 月 4 日～9 日 第 2 回青少年親善使節団がコモ市を訪問

1985 年（昭和 60 年）10 周年記念

8 月 7 日～11 日 コモ市 10 周年親善使節団が来市
クラウディオ・ビアンキ市評議員を団長とする使節団
が来市しました。

8 日、クロス 10 で 10 周年記念式典が行われ、両市
の交流に長年尽くされた関係者（ライモンド・カメリー
ニ神父、ドミニコ・ガンドロフィ神父、コラード・モルテー
ニ神父、神吉登代子さん）に感謝状を贈呈し、10 日には、
「コモ通り」命名テープカットが行われました。



10 周年記念式典の様子

1986 年（昭和 61 年）

9 月 5 日～9 日 10 周年親善使節団・
第 3 回青少年親善使節団がコモ市を訪問



9 月 5 日～9 日、丸山尚政市長を団長と
する使節団 14 名と、青少年使節団 6 名が
コモ市を訪問し、市役所で 10 周年記念式
典が行われました。

丸山市長、セルジオ・シモーネ市長の会
談では、セティフィチョ絹織物高等専門学
校への留学生受け入れ、小・中学校の作品
交流などが提案されました。

7 日にコモ市の中心に位置している駅前通
りが「十日町通り」と名付けられ、開通式が
行われ、両市に姉妹通りが誕生しました。

◀ 10 周年記念に様々なイベントが催された

1987 年（昭和 62 年）

6 月 12 日～14 日 姉妹ロータリークラブ使節団がコモ市を訪問

十日町ロータリークラブ使節団（大島敬策団長 19 名）がコモ市を訪問し、1981 年に姉妹クラブとなったコモロータリークラブと会談。ロータリー綱領の「国際間の理解と親善と平和の推進」について、お互いに努力し合うこと確認しました。

8 月～1988 年 6 月

1986 年の 10 周年親善使節団訪問時の提案を受け、国立絹織物専門学校に 2 名の留学生（吉澤武彦さん、柳好恵さん）を派遣。2 名は 9 月からの新学期に入学し、1988 年 6 月までデザインを中心に勉強しました。

1990 年（平成 2 年）15 周年記念

10 月 3 日～6 日 15 周年親善使節団（池田耕平収入役団長）17 名と、第 4 回青少年使節団（笠原実団長）6 名がコモ市を訪問しました。

市議会議場で 15 周年記念式典が行われ、フェリチェ・ベルナスコーニ市長との会談で、行政レベルから民間レベルの交流に広げる必要性について同意しました。十日町市から持参した馬場小学校の児童の絵と、コモ市の児童の絵の展覧会がチェルネッツィ館で開かれました。



◀チェルネッツィ館に飾られた両市の児童の絵の前で記念撮影



想いはコモへ。交流協会の発会式

1991 年（平成 3 年）

9 月 6 日、15 周年親善使節団に参加したメンバーが中心となり、イタリア政府観光局ジョヴァンニ・ダミーゴ氏を迎えて、民間団体の「十日町・コモ姉妹都市交流協会（吉沢慎一会長）」を設立しました。

市民が参加する青少年・文化・経済・スポーツなどの各種交流事業を行うことにより、両市の幅広く、心の通った交流活動を進めることが約束されました。



ファミリア・コマスカ協会との連携はここから始まった

1992 年（平成 4 年）

6 月 7 日～10 日

十日町・コモ姉妹都市交流協会設立の挨拶と、コモ市側の民間交流窓口の開設を目的に協会スタッフ 6 名（村尾隆団長）がコモ市を訪問しました。

レンゾ・ピーニ前市長より、民間のファミリア・コマスカ協会（ピエルチェーザレ・ボルドーリ会長）を紹介され、同協会と連携しながら姉妹都市交流を進めていくことになりました。

1994 年（平成6年）

11月1日～7日 ラウラ夫妻が十日町市の市制40周年式典で来市

ラウラ・クレリチ夫妻がコモ市長の代理として市制施行40周年記念式典の祝意を表すため来市しました。
アルベルト・ボッタ市長からの「私の挨拶が、両市の交友関係のきっかけとなったラウラさんにより伝えられることは大変意義深いことです。両市の友好はすでに長年に渡って継続しており、この関係が末永く続くことを願ってやみません」というメッセージが披露されました。



桜の木の植樹の様子

10月2日～5日 20周年親善使節団がコモ市を訪問
本田欣二郎市長を団長とする使節団がコモ市を訪問しました。

3日、オルモ邸宅で小松ミラノ総領事が来賓として列席し、20周年記念式典が行われました。

式典後、ヴィラ・オルモ前庭に1本の榆（伊語：オルモ）の木が記念植樹されました。



十日町市からは78人の使節団がコモ市を訪問しました

1995 年（平成7年）20周年記念

5月1日～4日 コモ市20周年親善使節団が来市
アレッサンドロ・コロンボ市会議長を団長とする使節団（4名）が来市しました。今回の来市では、ファミリア・コマスカ協会のボルドーリ会長も同行しました。

1日、庁舎議場で20周年記念式典が挙行され、式典後には、庁舎前の庭に2本の桜の木（ソメイヨシノ）を記念植樹しました。

2日には、姉妹校予定の川治小学校を訪問し、児童たちの歓迎を受けました。



記念品として「火焰型土器」のレプリカが送られました

式典前の両市長・両協会長による四者会談では、今後の交流の在り方、経済交流について話し合いが行われました。

4日には、コモ市の庁舎議場で川治小学校とコモ市のフィルツィ小学校の姉妹都市提携調印式が行われました。

1998 年（平成 10 年）

5 月 3 日 コモ市から小船「ルチア」が贈呈
きものまつりと成人式が行われた 5 月 3 日、十日町市のコモ通りではコモ市からの贈り物「ルチア」（コモ市の伝統的な小舟）のお披露目式が行われました。当日はコモ市から市長代理としてスィルバーノ・レオーニ市長室長とアルバ夫人が式典に出席しました。

「ルチア」
お披露目式
の様子▶



▶
コモ市役
所で執り
行われた
記念式典

2000 年（平成 12 年）25 周年記念

6 月 25 日～28 日 コモ市 25 周年親善使節団が来市
26 日、市議会議場でイタリア大使館のマリオ・パ
ルマ参事官が来賓として列席し、25 周年記念式典を
開催しました。アルベルト・ボッタ市長を団長とする
使節団一行は、市民の熱い歓迎を受けました。



◀ 25 周年
記念式典の様子



◀ 市役所前で十日町市民の歓迎を受けるボッタ市長

11 月 2 日～5 日 親善使節団がコモ市を訪問
十日町・コモ姉妹都市交流協会の吉澤慎一会长を団
長とした親善使節団がコモ市を訪問しました。

3 日にコモ湖畔のモニュメント像「友愛」の除幕式
を行い、市議会議場で歓迎を受けました。イベントに
は姉妹校のフィルツィ小の児童も大勢参加しました。



「友愛」の像の除幕式には、作者の藤巻先生も参加



十日町市からの使節団とコモ市一同で記念撮影

2004 年（平成 16 年）

9 月、30 周年記念事業の事前打ち合わせのため、十日町・コモ姉妹都市交流協会の派遣団がコモ市を訪問。この際、青少年交換留学の企画について話し合われました。



キナーレでコモ市へ記念品「平和」の書が贈られる



記念式典の会場となったコモ市立図書館入口で撮影

2005 年（平成 17 年）30 周年記念

7 月 22 日～25 日 コモ市 30 周年親善使節団と

「コモ市から十日町市へ平和の旅」使節団が来市

5 月 8 日、「コモ市から十日町市へ平和の旅」使節団の 4 人は、2 台の車でコモ市を出発。ヨーロッパとアジアを横断し、「平和使節都市」の加盟都市である 21 都市に平和、友好、連帯のメッセージを届け、7 月 22 日に十日町市に到着しました。

マリオ・パストーレ市議会議長を団長とする「コモ市親善使節団」と「平和の旅使節団」が参加し、23 日にキナーレで「姉妹都市提携 30 周年記念式典・平和の旅使節団歓迎式典」が開催されました。

11 月 3 日～9 日 30 周年親善使節団がコモ市を訪問
十日町市親善使節団（団長：田口直人市長）がコモ市を訪問し、姉妹都市提携 30 周年記念行事が市立図書館で開催されました。

同会場では様々な日本の文化交流イベントも行われました。

親善使節団は、市内で行われた旗振り隊によるパレードに参加し、ケーブルカーでブルナーテを訪れ、ヴォルタ記念館や市内の美術展を見学しました。また、使節団は姉妹校であるフィルツィ小も訪問しました。

2007 年（平成 19 年）

コモ市友好使節団が来市

第 58 回十日町雪まつりに特別ゲストとしてコモ市からブルーニ市長夫妻ら 7 人の使節団が来市し、雪まつりを楽しみました。この年の雪上カーニバルの舞台のデザインはコモ市の大聖堂・プロレット・時計塔がモデルとなっています。滞在中は、各地の「雪まつりひろば」を訪れ、雪上でのさまざまな活動を楽しみました。



7 名の使節団は雪まつりを楽しみました



コモ市の大聖堂・プロレット・時計塔をモデルとしたステージ

2010 年（平成 22 年）35 周年記念

11 月 4 日～7 日 関口市長を団長とする

35 周年親善使節団（75 名）がコモ市を訪問

5 日に庁舎議場で記念式典が行われ、姉妹都市提携を行った当時のスパリーノ元市長をはじめとする歴代コモ市長全員が列席しました。

6 日に大妻嵐山高等学校コーラス部 16 名を含む 30 名のバレエと合唱、音楽のアンサンブルが「ACCE アンデルセン合唱団」としてコモ市のソチャーレ劇場で姉妹都市 35 周年記念公演を上演しました。その後、コモ市のケルティック・ハーブ・オーケストラも演奏を披露しました。

フランチェスコ・バラッカ小学校を訪問した際、同校の児童たちは日本の歌を歌い、十日町市使節団を出迎えました。



ソチャーレ劇場で合唱を披露する大妻嵐山高等学校コーラス部



「イントレッチ・ディ・ポポリ」に参加する村尾代表とルーチーニ市長

2013 年（平成 25 年）

5 月 17 日～20 日

十日町・コモ姉妹都市交流協会の使節団がコモ市を訪問

コモ市で行われた国際相互理解のためのイベント、「イントレッチ・ディ・ポポリ（民族の交わり）」に参加しました。

2015 年（平成 27 年）40 周年記念

2 月 27 日、姉妹都市盟約書の調印記念日にオンライン会談を行いました。

コモ市では古賀京子ミラノ総領事も来賓として列席し、両市の友好を確認しました。



オンライン会談に参加していたバラッカ小の児童たちとコモ市長



十日町市役所では大勢の人がオンライン会談に参加



7月25日～28日 コモ市40周年親善使節団が来市
ステファノー・レニャーニ市議会議長をはじめ、
12名の親善使節団が来市。滞在中は、記念式典や歓迎行事を開催したほか、大地の芸術祭の作品鑑賞や市内視察などを行いました。

◀十日町市の記念式典で撮影された記念写真

10月20日～29日 40周年親善使節団がコモ市を訪問
関口市長を代表に公式使節団10名と市民使節団を
合わせた56名がコモ市を訪問。コモ市で開催された
記念行事に参加しました。

2016年（平成28年）

10月、十日町市の使節団がコモ市を訪れ、コモ市
内の職人養成学校CFPで「へぎそば交流会」を開催
しました。



コモ市でも盛大な記念式典が行われた

2017年（平成29年）

コモ市内職人養成学校CFPとの相互派遣を開始し
ました。

2020年（令和2年）45周年記念

新型コロナウイルス感染症拡大により周年事業が中止
代わりに十日町市民からメッセージ動画を送りました。

直接会えない間も交流は続けられた ▶



コモ市のセティフィチョ高等専門学校の学生がデザ
インした22着のゆかたを仕立てあげ、段十ろうに8
着を展示しました。

◀色とりどりの浴衣が段十ろうを彩った

2025年（令和7年）50周年記念

2月27日姉妹都市盟約書の調印記念日に両市はオ
ンライン会談を実施しました。

両市の強い絆はこれからも続いていく▶



50周年記念コモ市親善使節団 十日町市訪問

コモ市のアレッサンドロ・ラビネーゼ市長とファミリア・コマスカ協会のラウラ・ボルドーリ会長をはじめとする8名の使節団が2025年（令和7年）7月4日から7日まで十日町を訪問しました。コモ市長が十日町を訪れたのは約18年ぶりであり、滞在期間中、十日町の魅力に触れ、姉妹都市の絆を深めました。



記念式典では、50年の歩みを振り返り、半世紀にわたり育んできた信頼を再確認し、未来へ続く友好を誓い合いました。



十日町市からコモ市へ、十日町自慢のきものをプレゼントしました。現在は、コモ市役所の議場に飾られています。



民間団体の「十日町・コモ姉妹都市交流協会」が市内小学生との交流会を開催しました。市民間の交流も活発に行われています。



蒲生の棚田を見学し、里山の素晴らしさを体験するとともに、十日町市の基幹産業である農業の大切さを学びました。



Tunnel of Light (マ・ヤンソン /MAD アーキテクト)

十日町市屈指の観光スポット「清津峡トンネル」も見学し、当市の魅力を存分に堪能しました。



50周年記念十日町市親善使節団 コモ市訪問

関口芳史 市長と西方勝一郎 十日町・コモ姉妹都市交流協会 会長をはじめとする 19 名の十日町市からの使節団が 2025 年（令和 7 年）10 月 3 日から 5 日までコモ市を訪問しました。



コモ市の児童たちに絵本をプレゼントしました。将来の姉妹都市交流の架け橋となる若者の成長を願っています。



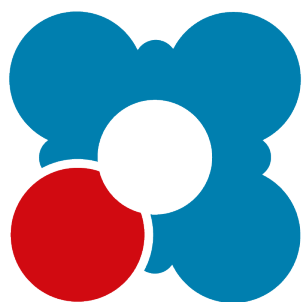
バラッカ小の生徒たちから、姉妹都市校である川治小へのプレゼントをいただきました。今後も両校の交流を継続していきます。



ラビネーゼ市長の大好きな T シャツを交換し、心の交流をしました。



コモ市の学生からのサプライズ！2019 年の「ゆかたプロジェクト」で制作したゆかたを着て出迎えてくれました。



50° anniversario
del gemellaggio
Como Tōkamachi.



美しいコモ湖の前での一枚

学生交流

1975 年（昭和 50 年）

2月17日、コモ市のラウラ・クレーリチさん（当時9歳）から、春日市長に手紙がよせられました。

十日町市とコモ市が姉妹都市となることを地元の新聞で知ったラウラさんには「日本の文化を深く理解できるように十日町市の同い年の子供たちと文通をしたい」という想いがありました。

姉妹都市提携調印式典で、十日町小学校児童が書いた手紙や版画・習字作品をラウラさんにプレゼントし、同日、姉妹都市交流と共に両市の学生交流もスタートしました。



十日町市からのプレゼントを受けとるラウラさん

1981 年（昭和 56 年）

5月、姉妹都市交流5周年の記念行事が十日町市で行われ、コモ市のスパリーノ市長が成人式でメッセージを読み上げ、諸里市長、スパリーノ市長が、共に青少年交流を中心に姉妹都市関係を深めていくことを確認しました。



十日町市の成人式でメッセージを披露するスパリーノ市長

初めてコモ市親善使節団が派遣されることとなり、1975年に春日市長に手紙を書いたラウラ・クレーリチさんも参加しました。

ラウラさんは日本の文化や十日町市の日常を体験しました。文通を始めて6年、ラウラさんの文通相手の木内さんと初めて対面することもできました。

滞在中、成人式への参加や、十日町中学校への訪問、十日町高校生との交流会、名ヶ山小学校児童の歓迎会への出席など、十日町市民との交流を楽しみました。



市内のきもの工場を見学する
ラウラさん（右から2番目）と木内さん（右端）

また、コモ市親善使節団の来市時に議題に上がった青少年交流を進めるため、「コモ市青少年交流を考える会」が組織されました。（十日町市、十日町ロータリークラブ、織物組合青年部、青年会議所、専門店会青年部、青年学級自治会、その他有識者など）



交流会でダンスを楽しむ両市の学生

1982 年（昭和 57 年）

8 月 24 日～29 日 第 1 回青少年親善使節団がコモ市を訪問

23 名の応募者から男女各 3 名の派遣が決定し、初の青少年親善使節団（根津勝団長）がコモ市を訪問しました。

6 名は青少年交流をはじめ、各種施設の訪問、行事への参加を通じて、コモ市の自然や文化を学ぶとともに現地の人と触れ合い、貴重な経験をすることで、コモ市への理解を深めることができました。



コモ市役所で十日町市長からの
メッセージを読み上げる根津団長



コモ湖の観光を楽しむ学生一行

1983 年（昭和 58 年）

第 1 回コモ市青少年親善使節団が来市

8 月 23 日～26 日、パオロ・ジョビオ高校のアノーニ校長夫妻を代表として、若者 4 名の青少年使節団が来市しました。

滞在中、市内の施設（博物館、神宮寺、織物工場など）見学やホームステイ、そして十日町おおまつりに浴衣姿で参加するなど、市民との交流を楽しみました。

十日町高校、十日町実業高校を訪問した際には、生徒の協力により、高校生との交流が実現しました。

十日町高校では、体育、文化クラブ活動を見学。昼食は生徒と一緒に手作りし、食べました。

十日町実業高校では、農場を視察したあと、交流会が開催されました。また、滞在中に日本の伝統文化である生け花、書道、茶の湯も体験しました。



きもの姿で十日町おおまつりを楽しむコモの使節団一行



十日町実業高校生との記念撮影

1984 年（昭和 59 年）

第 2 回青少年親善使節団がコモ市を訪問

9 月 4 日～9 日、十日町市から第 2 回青少年親善使節団がコモ市を訪問しました。5 名の学生たちがコモ市の家庭にホームステイし、現地の文化を肌で感じられる貴重な経験をしました。

ホームステイの受け入れ家庭には、1983 年にコモ市青少年親善使節団の一員として十日町市を訪れたアノーニ校長やカルロさんの家族に加え、「第 35 回十日町雪まつり」に参加したフェデリカ・ジュッサーニさん、1983 年に自費で十日町市を訪問したマルコ・サンピエトロさんも含まれていました。

滞在中は学校やスポーツ施設、絹織物工場などを見学したり、コモ大聖堂やサン・フェデーレ教会、コモ湖、ケーブルカーといったコモ中心地の名所を訪れたほか、ミラノ観光も行いました。



歓迎パーティで歌を披露する学生

また、コモ・ロータリークラブはヴィラ・デステで昼食会を開き、商工会議所も市内中心部で夕食会を催しました。

公式行事以上に交流を特別なものにしたのは、人と人との温かな繋がりでした。ホームステイを通じて、コモの暮らしに直接触れ、さらにコモの若者たちが企画したピザパーティーやディスコでの交流会、ヴィラ・オルモでの送別夕食会などを通して、多くの市民や同世代の若者たちとの友情を育むことができました。

1986 年（昭和 61 年）

9 月 5 日～10 日、第 3 回青少年親善使節団がコモ市を訪問

第 3 回青少年親善使節団が 10 周年親善使節団と共にコモ市を訪問しました。

さまざまな歓迎式典、コモ湖や中心市街地を見学し、浴衣姿で市民祭りに参加し、十日町小唄の踊りを披露しました。

短い滞在日程の中、丸山市長とセルジオ・シモーネ市長は両市の一層の交流、そして親善を図るため、二度の会談を行いました。

合意した事項の中にはセティフィチョ絹織物高等専門学校に留学生を受け入れる旨も盛り込まれました。

1987 年（昭和 62 年）

8 月～翌年 6 月、吉澤武彦さんと柳好恵さんは留学生派遣事業でコモ市にある「セティフィチョ絹織物高等専門学校」に留学しました。同校は国立の 5 年制学校で、1 年間の特別聴講生として、3 年生のクラスで過ごしました。

授業はイタリア語で行われたため、2 名は授業が理解できるように毎日イタリア語のレッスンを受けました。

1990 年（平成 2 年）

10 月 3 日～6 日、第 4 回青少年親善使節団がコモ市を訪問
姉妹都市提携 15 周年を記念し、第 4 回使節団（笠
原実団長）が十日町市の公式親善使節団に同行してコ
モ市を訪問しました。

公式使節団と共に記念式典や夕食会に出席するとと
もに、市街地を観光したり、セティフィチョ絹織物高
等専門学校を視察しました。また、遊覧船に乗ってコ
モ湖とその周辺などを見学したり、コモ市の若者たち
と交流する機会を設け、イタリア語、英語、日本語を
使い分けながら、コミュニケーションを取り合いまし
た。

三日目の夜には、コモ市の青少年たちが主催した
パーティーに出席し、青少年同士の交流も深めました。

また、コモ市役所で馬場小学校児童の絵とコモ市内
の小学生の絵の展覧会が開催され、開会式ではコモ市
の学生合唱団が使節団を出迎えました。



コモ市役所で使節団を迎える小学生



日本への帰国前夜に開催された送別パーティー



コモ使節団に千羽鶴を送る川治小の児童



コモ市で開催された姉妹校提携調印式の様子

1995 年（平成 7 年）

5 月 2 日

来市したコモ市親善使節団が姉妹校予定の川治小学
校を訪問し、児童から歓迎を受けました。クイズや質
問コーナー、プレゼント交換などの交流会の後、授業
を見学し、給食を楽しみました。この際、コモ市のフィ
ルツィ小学校との交流が計画されました。

10 月 4 日 川治小とフィルツィ小が姉妹校提携
姉妹都市提携 20 周年記念行事と合わせ、コモ庁舎
議場で、川治小とフィルツィ小の姉妹校提携調印式が
行われました。川治小児童会代表として、高波香織さ
んと南雲麻衣子さん（6 年生）が出席しました。

関係者が見守る中、川治小の清水稔教頭、フィルツィ
小のジョバンナ・カルニーニ校長が日・伊両文の姉妹
校提携書に署名し、調印式後には、同校を訪問。児童
たちとの交流会や異文化間の対話が行われました。

1998 年（平成 10 年）

6 月 21 日～ 29 日、川治小児童がコモ市を訪問

川治小児童（27 名）、同校引率者、十日町・コモ姉妹都市交流協会、市の関係者 39 名がコモ市を訪問しました。27 名の子供たちはホームステイをはじめとした貴重な体験をしました。

体験の中には、サッカー大会への参加や、国際大会「コモ・フットボール・カップ」の開幕戦の観戦などもありました。

また、老人ホームを訪問し、手づくりの飾りや人形をプレゼントし、日本の歌、イタリア民謡を披露し、子供たち一人ひとりがお年寄りと交流しました。

さらに、フィルツィ校を訪問し、川治小児童全員のサインがされた鯉のぼりと吹き流しを贈呈しました。同時に学校を見学し、イタリアの授業の様子や児童たちの日常生活も体験しました。



日本の歌を披露する学生



フィルツィ小に鯉のぼりをプレゼント

2000 年（平成 12 年）25 周年記念

6 月 27 日

コモ市親善使節団がフィルツィ小の姉妹校の川治小を訪問しました。児童から熱い歓迎を受け、使節団やフィルツィ小に絵や習字などが贈られました。その後、各教室の授業を見学しました。

同年 11 月、コモ湖畔で開催された藤巻秀正氏の「友愛」の像の除幕式に参加した十日町市の使節団は、フィルツィ小児童の歓迎を受けました。



川治小で歓迎を受けるボッタ市長



歓迎会当日、学校は大盛り上がりだった



「友愛」の像の除幕式の様子

2005 年（平成 17 年）30 周年記念

4 名の「コモ市から十日町市へ平和の旅使節団」は 2 台のオフロード車に乗って、5 月 8 日にコモ市を発。ヨーロッパとアジアを横断し、「平和使節都市」の加盟都市である 21 都市に平和、友好、連帯のメッセージを届けました。この中には、コモ市の学生たちが同世代の子どもに宛てて書いたメッセージが入っていました。300 通のメッセージの中から 30 通を選んで日本語に翻訳し、7 月 22 日に十日町市に到着した際に、記念冊子と共に贈呈されました。

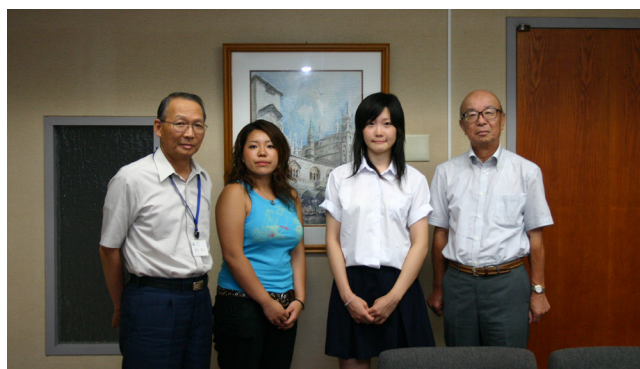
また、コモ市での姉妹都市提携 30 周年記念行事において、市内のカズナティ調理専門学校の生徒たちが、公式レセプションの運営や、コモ市民を対象とした料理体験イベントの運営に携わりました。



市役所前で使節団を出迎える十日町市民

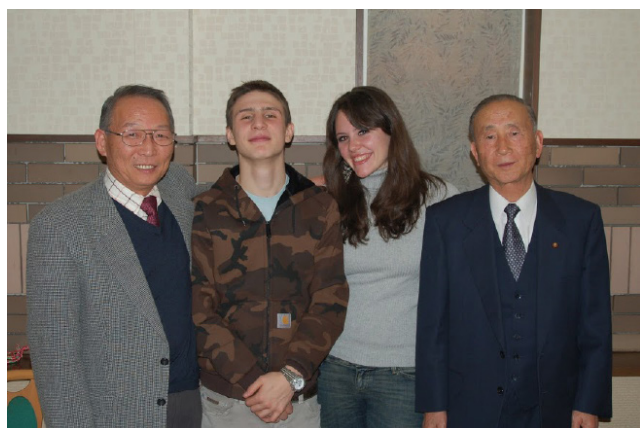


歓迎セレモニーはキナーレ回廊で開催された



第一回留学生の

広田さん（左から2番目）・小野嶋さん（右から2番目）



第一回留学生の

ジョヴァンニさん（左から2番目）・ジョアンナさん（右から2番目）

2006 年（平成 18 年）

青少年交換留学事業を開始

青少年交換留学事業は、十日町・コモ姉妹都市交流協会（小川徳久会長）とファミリア・コマスカ協会（ピエルチェーザレ・ボルドーリ会長）が、前年の交流 30 周年を機に、両市の交流をさらに深める目的で計画したもので、この年から始まりました。

実施について小川会長は、「未来を担う若い人たちの交流を通して、両市の交流の幅が広がることを期待しています」と期待を述べました。

また、この年からコモ市では、コモ市と民間ボランティア団体が立ち上げた、コモ市の小中学生たちが姉妹都市について学ぶ事業「プロジェクト・ジェミニ」が始まりました。

本プロジェクトにより、ボランティア団体と協力しながら、姉妹都市の文化について、活発な学習が行われるようになりました。

本プロジェクトを通じて、これからの両市の交流を担っていく世代が着実に育っていくこととなりました。（イタリア語で「ジェミニ」は「双子」を意味し、姉妹都市の「姉妹」を表現する言葉として選ばれました）

2010 年（平成 22 年）35 周年記念

コモ市内のフランチェスコ・バラッカ小学校と新たに交流を開始しました。十日町市親善使節団が訪問した際にバラッカ小の児童たちは、日本の歌を歌い、「姉妹校と国際交流について」をテーマとして描いた絵を展示し、使節団を出迎えました。



日本の歌を歌って使節団を出迎えるバラッカ小の児童



奴奈川小でハープの演奏会が開催された

2011 年（平成 23 年）

5 月 12 日、13 日

コモ市出身のハープ演奏者のファビウス・コンステールさんが、東日本大震災で被災した人々を慰問するため 9 日に来日し、十日町市にも訪れました。

ファビウスさんは、長野県北部地震で被害のあった奴奈川小学校を訪問し、同校と浦田小学校の児童 17 名に 4 曲を披露しました。

また、川治小学校と十日町中学校も訪問し、川治小では交流関係にあるバラッカ小児童たちから預かったイラストや手紙などを児童に手渡しました。

2013 年（平成 25 年）

5 月 17 日～20 日

十日町・コモ姉妹都市交流協会の使節団が、コモ市で開催されるイベント「イントレッチ・ディ・ポポリ(民族の交わり)」に参加しました。このイベントは、姉妹都市との国際協力を目的としたフェスティバルで、会議やコンサート、ワークショップなどを通じて、異なる習慣や文化の相互理解を推進するために実施されました。

コモ市滞在中、使節団はバラッカ小を訪問。3 年 C 組の児童たちに出迎えられ、児童たちと国際的な文化交流を行いました。

十日町市の使節団へは、川治小へ持ち帰るためのプレゼントが手渡され、イタリアの各地域の伝統衣裳を紹介した切り絵の作品集と、児童たちの作成風景を記録したアルバムが添えられました。

同年秋、川治小の児童たちは、お返しの品として、十日町市の人口、面積、そして川治小の位置などが紹介されている地図や、子どもたちの写真、「折紙の折り方」が書かれたノートをバラッカ小に送りました。



バラッカ小に出迎えられた十日町市使節団



バラッカ小児童から川治小児童へのプレゼント

2016 年 (平成 28 年)

10 月 14 日～16 日

コモ市内の職人養成学校で「へぎそば交流会」を開催
コモ市内で、十日町市の伝統的な文化の一つである「へぎそば」を紹介するイベントが開催されました。

このイベントの中心となったのは、コモ市内の職人養成学校「CFP」(Centro Formazione Professionale)で、十日町市から招へいされた 2 名の料理人が、学生たちを対象に講習を行いました。

「そば始め会」の関口さんは、3 年生の生徒たちに基本の材料の説明、道具の使い方や生地をこねる方法、切る技法などを実演しながら、へぎそばの作り方を指導しました。佐藤さんは、前菜や天ぷらなどの調理法を学生たちに解説し、その後、学校の指導担当シェフや「日伊文化交流協会道しるべ」の会員の協力を得て、コモ市民を対象としたイベントで提供される料理を実際に調理しました。



そばの打ち方を習うCFPの生徒たち



「そば始め会」関口さんとCFPの生徒たちとの記念写真



歓迎会「コモの夕べ」が盛大に催されました



歓迎会で挨拶するエリーザさん

2017 年 (平成 29 年)

3 月 26 日～5 月 13 日

初めてコモ市から 2 名の料理研修生が来市しました。
2 人はコモ市内の職人養成学校 CFP で調理を学ぶ学生で、約 50 日間にわたり十日町市内に滞在し、ホテルや旅館・料理店で日本料理などを学びました。

研修生のエリーザ・パッピーニさんとアレッサンドロ・パドベーゼさんは滞在中に様々な文化体験と十日町市民との交流を行いました。



ALT と一緒にきもの祭りを楽しむエリーザさん (最左) とアレッサンドロさん (右から 2 番目)

2018 年（平成 30 年）

3 月 20 日から 5 月 5 日

前年に引き続き、コモ市内の職人養成学校 CFP が十日町市に日本料理の研修生を派遣しました。

ピエランジェロ・プリメラーノさんとルカ・マルティネリさんは、十日町市内の様々な商店で研修しながら、文化体験と市民との交流を行いました。

2 月から 6 月

コモ市の学生と「きもの柄デザインプロジェクト」の実施

十日町市が誇る伝統産業であり、芸術であるきものを紹介し、授業の教材に取り入れることにより、イタリアの若い世代のきものや姉妹都市交流への関心を高めることを目的にこのプロジェクトは発足しました。

セティフィチョ絹織物高等専門学校の 5 年生を対象に日本文化の講義、きものの着付け、体験などを通じて基本的な知識を習得し、自由に着物柄をデザインしました。

デザインは十日町市へ送られ、十日町織物工業協同組合と十日町商工会議所が寸評を行い、一冊のカタログにまとめられました。



市内旅館にて研修をしたCFP一行



「きもの柄デザインプロジェクト」に参加した学生たち

2019 年（令和元年）

11 月 コモ市のセティフィチョ絹織物高等専門学校の学生と「ゆかたプロジェクト」を実施

セティフィチョ絹織物高等専門学校では、前年に引き続き、同プロジェクトが実施されました。11 月 11 日～16 日、きもの・ゆかたに精通した技術指導者 1 名（根茂織物㈱ 根津公彰代表取締役社長）をコモ市に派遣。同専門学校で、講義・技術指導を実施しました。

学生たちは独自の着物デザインを考案し、コモ市と十日町市の専門家による評価と指導を受けました。



「きもの柄デザインプロジェクト」できものの柄をデザインする学生たち



コモ市のレストランで研修をした板場さん（左）と大木さん（右）

当初、生徒のデザインのうち 10 点のみを制作する予定でしたが、このプロジェクトが大きな関心を集めたため、十日町市のきもの会社がすべてのデザインの浴衣を制作することになりました。

また、5 月 7 日～20 日には、十日町市の 2 名の社会人研修生（板場文夫さんと大木良恒さん）がコモ市の一つ星レストランに派遣され、技術指導などの研修を受けました。滞在中、様々な食品製造会社の見学も行い、料理人としての知見を広げることができました。

2023 年（令和 5 年）

新型コロナウイルスの影響で、しばらくの間中止となっていた交流事業が待望の再開となりました。

2020 年の夏に来市する予定だったコモ市の 2 名の交換留学生が、ようやく十日町市を訪れることができ、久しぶりの文化交流を楽しみました。

2024 年（令和 6 年）

両市で 50 周年記念ロゴマークの制作プロジェクトを実施。十日町市内の小中学校では、オルフィーノ国際交流員による、イタリア文化とコモ市についてのプレゼンテーションが行われました。

その後、各学校の生徒たちがロゴ案を作成し、その中から 50 周年記念の公式ロゴが選ばれました。

また、コモ市の NPO 法人 Italgeo が日本地図学会の協力のもと、地図ワークショップを開催しました。

「生活の中に地図」のテーマで制作された絵は越後妻有文化ホール「段十ろう」に展示されました。



コモ市のホストファミリーの家で撮影

2025 年（令和 7 年）

10 月 4 日から 11 月 2 日、コモ市のプロレット宮殿で姉妹都市 50 周年を記念するため、「絆・Legame 展」で両市の小学校で行った地図のワークショップの作品が展示されました。



50 周年式典で記念品を手渡されるバラッカ小の児童たち



十中生にイタリア文化について教えるオルフィーノ国際交流員

10 月～11 月

翌年に 50 周年を迎える姉妹都市提携を記念するイベントとして、コモ市内の各小学校で、児童たちに十日町市と日本文化を紹介する講座が開催されました。

このプロジェクトでは、子どもたちは日本の「短冊」の文化を学び、書道も体験しました。

11 月 14 日

コモ市立図書館にて、コモ市の児童向けに太鼓や琴、日本の昔話の朗読など、日本の文化を紹介する劇が上演されました。



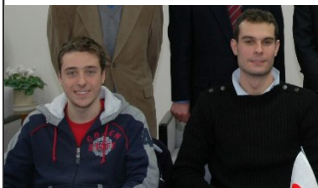
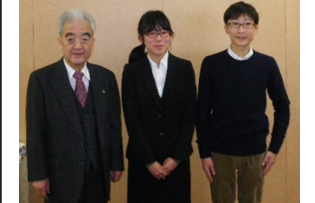
プロレット宮殿に飾られた作品を鑑賞するコモ市児童

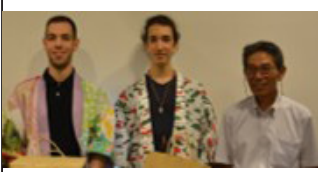
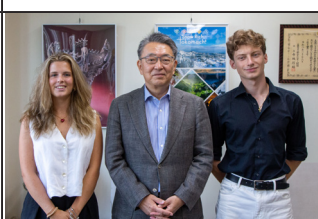
9 月から 10 月には、姉妹都市提携 50 周年を記念するため、バラッカ小の児童たちが、姉妹校の川治小の児童への贈り物として絵を描きました。

コモ市役所での記念式典の際に、バラッカ小の児童は川治小の児童への贈り物を心を込めて関口市長に手渡しました。

このプレゼントのお返しとして、川治小の児童はバラッカ小の児童のために、「日本の学校生活」の動画を作成して送りました。

歴代の交換留学生

派遣年	十日町市派遣生		コモ市派遣生	
2006 年 ～ 2007 年	広田 留美 小野嶋 彬子		ジョアンナ・ カルトッチ ジョヴァンニ・ ジェルフィーニ	
2007 年 ～ 2008 年	樋口 慶子 山岸 祐実		アンドレア・ バイアモンテ フィリッポ・ バーリ	
2008 年 ～ 2009 年	関谷 貴子 佐藤 佑		クララ・ブレンナ クリスティーナ・ ザンブラ	
2009 年 ～ 2010 年	井ノ川 優子 岡村 千広		アンジェリカ・ ポンテツジャ ピエトロ・ スカッキ	
2010 年 ～ 2011 年	品田 梓 藤楨 悠太		チェチーリア・ ロマーノ ティベリオ・ ピタッシ	東日本大震災により中止
2011 年 ～ 2012 年	富井 千晶		チェチーリア・ ロマーノ アリーチェ・ カンマレーリ	
2012 年 ～ 2013 年	阿部 美帆 林 直樹		キアラ・ テッタマンティ アリーチェ・ ヴィツラ	
2013 年 ～ 2014 年	藤田 真理子 大熊 葵		ラケール・ パローディ アレッシア・ パッセロ	

派遣年	十日町市派遣生		コモ市派遣生	
2014 年 ～ 2015 年	服部 穂乃香 雲谷 悠		フェデリーカ・ ドルチ デニーゼ・ レオーニ	
2015 年 ～ 2016 年	丸山 夏生 笠原 大輔		ジュリア・ トゥリンガリ カミッラ・ ミョッティ	
2016 年 ～ 2017 年	品田 梢 遠田 観月		クリスティアン・ バレンチージ マッテオ・ ノータ	
2017 年 ～ 2018 年	小杉 真奈 鈴木 綾華		クリスティーン・ リムティコ マリス・ モルガンティ	
2018 年 ～ 2019 年	岡村 恵莉花 山田 珠雅		ニコロ・ザアニ ヤコボ・プラート	
2019 年 ～ 2023 年	村山 穂奈美 高橋 沙夜		エレナ・シオリ マリア・ソフィア・ スパーノ	
2023 年 ～ 2024 年	柳 修太郎 庭野 敬		ロリス・ カッペツレット イラーリア・ マウリ	
2024 年 ～ 2025 年	吉越 千紘 根津 梨々花		レオナルド・ グアルテリ ミリアム・ チッミノ	
2025 年 ～ 2026 年	村山 龍大 庭野 茅乃		ピエトロ・ ボルギ マルティナ・ シール	

イベント

1978 年（昭和 53 年）

11 月 7 日

イタリア政府派遣の音楽家によるバイオリン、チェンバロの演奏会「イタリア音楽への誘い」を十日町市民会館で開催

1981 年（昭和 56 年）

3 月 21 日

コモ市の弦楽三重奏団「トリオ・デ・コモ」が初来市。演奏会が十日町市民会館で開かれ、約 500 人の市民がバイオリンとヴィオラの弦楽三重奏を堪能した。

5 月 9 日

コモ市 5 周年親善使節団の来市時に、世界的ソプラノ歌手・今井久仁恵さんの「使節団来市記念リサイタル＝日本とイタリアを歌う」を十日町市民会館で開催

1982 年（昭和 57 年）

3 月 12 日

コモ市出身の「トリオ・デ・コモ」が二度目の来市。演奏会を十日町市民会館で開催

1983 年（昭和 58 年）

2 月

第 34 回十日町雪まつりの際、十日町市役所職員互助会が千歳公園においてコモ市の大聖堂をモデルとした雪像を製作。商工会議所会頭賞受賞

1984 年（昭和 59 年）

4 月 28 日～ 5 月 6 日

市制施行 30 周年・クロス 10 開館 1 周年記念事業として、クロス 10 を会場に「イタリアン・フェア」を開催
「イタリア音楽の夕べ」「イタリア物産展示即売会」「イタリアワインの集い」「イタリア料理講習会」などを実施

1985 年（昭和 60 年）

8 月 8 日～ 11 日

コモ市 10 周年親善使節団の来市時、クロス 10 において「イタリアンワインの集い」と「イタリアンフェア パート II」を開催

1987 年（昭和 62 年）

2 月

第 38 回十日町雪まつりの際、高田町 1 丁目が「姉妹都市 Como Part 1」という雪像を制作

1990 年（平成 2 年）

5 月 13 日

在日イタリア大使館サルバトーレ・ピンナ大使館参事官と在東京イタリア政府観光局ジョバンニ・ダミコ副部長を迎えて、コモ通り開通式を開催

1991 年（平成 3 年）

十日町・コモ姉妹都市交流協会成立記念として、クロス 10 において「ボンジョルノ・イタリア 91」を開催し、イタリア製品の展示・販売を実施

1994 年（平成 6 年）

1 月 1 日

ソチャーレ劇場で開かれたファミリア・コマスカ協会主催による第 6 回ニューイヤーコンサートで、メゾソプラノ歌手の当重茜さん（十日町市出身）が熱唱し好評を博した。

5 月 25 日～ 29 日

十日町市の動画撮影のため、コモ市からパオロ・リパリさん（撮影担当）とマウロ・コッツアさん（演出家）が来市。相互理解を深めるために市民生活・文化・歴史などを紹介する動画を撮影

11 月 3 日

十日町市市制施行 40 周年記念式典にコモ市の代表者としてラウラ・クレーリチさんが出席し、コモ市長からのメッセージを披露

1996 年（平成 8 年）

12 月 4 日

十日町市民会館において、十日町・コモ姉妹都市交流協会主催による「プレ・クリスマス・コンサート」を開催。コモ市在住の伊藤裕子さん（ソプラノ歌手）、夫のアンドレア・スキャービオさん（ピアニスト、コモ出身）をお招きし、十日町市出身の当重茜さん（メゾソプラノ歌手）とクリスマスソング、日本歌曲、イタリア語でオペラを共演

1998 年（平成 10 年）

1 月 21 日

十日町市民会館において、アコーディオンとピアノのニューイヤーコンサートを開催。アコーディオンの演奏は日本初来日のマッシミリアーノ・ピトッコさん（イタリア人）、ピアノ演奏は中村ゆかりさん。

2000 年（平成 12 年）

11 月 3 日～ 25 日

コモ市で初めて十日町市芸術協会「Tōkamachi city art」の交流展を開催。ファミリア・コマスカ協会のサポートで、コモ市内 2 ヶ所に書道、日本画、洋画、写真、染色デザインなど 81 点を展示

2001 年（平成 13 年）

5 月 15 日～ 6 月 10 日

本年が「日本におけるイタリア年」にあたることから、イタリアやコモ市を多くの市民から理解してもらうために、クロス 10 で「コモ・とおかまち 2001・ボルタの偉業とコモ観光展」を開催。開会式にはコモ市からピエルジョルジオ・ヴァッレ評議員と在日イタリア大使館のジュスト・シャラッパ文化・科学担当参事官が列席

また、観光展の開催にあわせ、クロス 10 において「イタリアンフェア」を開催。イタリアワインの試飲と料理の試食、ネクタイ・物産などを販売

さらに、コモ通りの空店舗において「漫画展」を開催。「ユーモアの詩人」として親しまれているコモ市出身のエルネスト・カッターニ氏の作品 40 点を展示

9 月 16 日

十日町・コモ姉妹都市交流協会創立 10 周年を記念し、市教育委員会と共催でイタリアの男性コーラスグループ「ラ・ファイタ」のコンサートを十日町市民会館で開催。メンバー 32 人は、主に山の歌やアルプス兵士の歌などを披露。また、地元共演者として、歌手の当重茜さん、コーラスライン、明石合唱団も参加

11 月 20 日

キナーレ西側回廊に姉妹都市交流写真パネルを展示

2004 年（平成 16 年）

8 月 1 日～ 22 日

第 10 回十日町石彫シンポジウムにコモ市から作家 2 人を招待。マッシモ・クレリチ氏の作品「ヴルカヌスの女」はコモ通りに設置、ブルーノ・ルッツァーニ氏の作品「絹に結ばれた姉妹都市」は市役所正面玄関前に設置

2005 年（平成 17 年）

11 月 5 日

姉妹都市提携 30 周年記念行事として、コモ市立図書館で日本の音楽や食を紹介するイベント「コモ・十日町ウィーク」を開催。関夫妻が日本民謡を演奏し、小林博さんが寿司を、小林均さんがそばを振る舞うなど、多くのコモ市民と交流した。

2007 年（平成 19 年）

チェルノッビオ写真クラブ主催のイタリア全国写真コンテストにファミリア・コマスカ協会が協賛して十日町部門を創設

2011 年（平成 23 年）

5 月 12 日～13 日

コモ市出身のハーブ演奏者でセルティック・ハーブ・オーケストラ・ディレクターのファビウス・コンステールさんが来市。東日本大震災で被災した人たちを慰問する目的で 9 日に来日。福島県、宮城県、岩手県、青森県の避難所を巡る慰問コンサート（24 日まで）に先立ち、十日町市を表敬訪問。ファビウスさんは、市内滞在中に長野県北部地震で被害のあった奴奈川小を訪問し、奴奈川小と浦田小の児童 17 名を前に 4 曲を披露した。また、川治小と十日町中も訪問し、川治小ではコモ市のバラッカ小学校の子どもたちから預かったイラストや手紙などを川治小児童に手渡した。

2013 年（平成 25 年）

8 月 23 日～29 日

十日町・コモ姉妹都市交流協会がイタリアからの観光客誘致を目的に試験的なツアーを実施。ファビウス・コンステール団長をはじめセルティック・ハーブ・オーケストラの 7 名が十日町市を訪れる。来市した一行は、市内の民宿などに宿泊し、座禅・陶芸・日本料理・茶道・染物などの体験や、酒造所の見学、十日町おまつりの民謡流しへの参加など、日本文化を体験した。24 日には十日町・コモ姉妹都市交流コンサート「音楽のリレー・Musica a Staffetta」を開催。また、南中学校吹奏楽部と合同でハーブコンサートを開催し中学生と交流を深めた。

2014 年（平成 26 年）

2 月 22 日～23 日

十日町・コモ姉妹都市交流協会が後援し、第 8 回青少年交換留学生の藤田真理子さんが「コモフェア」を開催。藤田さんの帰国報告とコモ市に対する今後の思いを話したほか、十日町市出身の杉本多恵さんによる「イタリアワインの講習会」や、来場者に十日町市の米粉・そば粉を使ったニョッキ、パスタ料理を提供

5 月 26 日

セルティック・ハーブ・オーケストラが二度目の来市。中条の円通寺にてハーブコンサートを開催

2015 年（平成 27 年）

コモ市において 40 周年記念カレンダーを制作

5 月 16 日～24 日

コモ市側の 40 周年記念行事において、日伊文化協会「道しるべ」が主催の「コモに日本文化」の展示会を開催

2017 年（平成 29 年）

3 月 26 日～29 日

コモ市から初めて職人養成学校 CFP の 2 人の料理研修生が来市。28 日には、シェフと研修生が作るイタリア料理の夕食会「コモの夕べ」が開催され、十日町・コモ姉妹都市交流協会の会員を中心に市民約 50 名が参加

5 月 6 日～9 月 30 日

コモ市内の大聖堂「ドウオモ」に隣接する観光案内所内に十日町市を紹介する PR コーナーを設置。姉妹都市交流の歴史を紹介するパネルやパンフレットのほか、十日町市のきものや和装小物なども展示。コモ市で活動する日伊文化交流協会「道しるべ」が運営する当コーナーでは、書道・折り紙・着物体験・浮世絵の講座・琴の演奏会・日本料理などのワークショップも開催

8 月 12 日～17 日

「太鼓レッコ協会」の代表キヤーラ・コデッタさんが来市。滞在中に十日町大太鼓・松代松芋太鼓・鬼太鼓座の協会員と交流する。

8 月 30 日～9 月 4 日

コモ市の守護聖人の祝祭日「聖アッボンディオ祭」に、十日町調理師会から 2 名の料理人を派遣・出店

11 月 20 日～26 日

2016 年からイタリア外務・国際協力省が主導してイタリアの食文化と伝統を伝える国際的なイベントが世界中で開催され、2017 年に第 2 回イタリア料理週間に合わせて十日町市において「イタリアンフェア」を初開催

2018 年（平成 30 年）

8 月 4 日～11 日

コモ市の市民団体、日伊文化交流協会「道しるべ」の会員 8 名が来市。滞在中は市内でホームステイをしながら、大地の芸術祭のボランティアを行ったほか、十日町市民とイタリア料理教室を開催した。また、川治小学校を訪問し、4～6 年生の児童たちと交流した。日伊文化交流協会代表の伊澤明子さんは「十日町市に新しい家族や友達ができたことを、メンバー一同喜んでいきます」と話した。

11 月 19 日～25 日

駐日イタリア大使館が実施する「世界イタリア料理週間」に合わせ、「イタリアンフェア in 十日町」を開催
プレイベントとして 18 日に市民交流センター「分じろう」マーケット広場を会場に「タボラータと情熱のイタリア車展示会」を開催（「タボラータ」とは、大勢で楽しく食卓を囲むという意味）

2019 年（令和元年）

3 月 27 日～28 日

コモ市フォトコンテスト 40 周年を記念し、コモ市から主催団体役員カミッラ・カステルヌオボさんが来市し、ビデオ上映会を開催

10 月 26 日～11 月 24 日

十日町・コモ姉妹都市交流協会と市の共催で「イタリアンフェア in 十日町」を開催。イベント期間中、コモ市から寄贈された品々をイベントに参加したレストランに展示

11 月 2 日

キナーレで「タボラータ」を開催。併せてイタリア車 26 台も展示

2020 年（令和 2 年）

10 月 24 日～11 月 27 日

「第 4 回イタリアンフェア in 十日町」を開催

7 月 19 日

コモ市のセティフィチヨ国立専門学校の学生のデザインで 22 着のゆかたを仕立てあげ、光の館で市内の高校生などに着用してもらい、プロモーション動画を撮影

11 月 8 日～13 日

段十ろうにおいて、コモ市の学生がデザインしたゆかた 8 着の展示会とプロモーション動画を上映

2021 年（令和 3 年）

5 月 5 日～20 日

コモ市内 14 か所（ブティック・ホテルなど）に「ゆかたプロジェクト」のゆかた 22 着を展示

10 月 15 日～11 月 29 日

コモ市のシルクミュージアムに「ゆかたプロジェクト」のゆかた 22 着を展示

10 月 23 日～11 月 28 日

「第 5 回イタリアンフェア in 十日町 2021」を開催

11 月 23 日

「イタリアンフェア in 十日町 2021」の特別ワークショップとして、親子料理教室を開催。テーマは手打ちパスタのニョッキ作り。

2022 年（令和 4 年）

1 月 7 日～31 日

在ミラノ日本国総領事館エントランスホールにおいて「ゆかたプロジェクト」で制作したゆかた 4 着を展示

10 月 17 日～30 日

十日町情報館ギャラリーにおいて「デ・アゴスティーニ家地図展」を開催。期間中、学校向けの地図ワークショップや市民との文化交流も実施

10 月 22 日～11 月 27 日

「第 6 回イタリアンフェア in 十日町 2022」を開催

2023 年（令和 5 年）

10 月 21 日～11 月 26 日

「第 7 回イタリアンフェア in 十日町 2023」を開催。10 月 29 日はキナーレでタヴォラータを開催

11 月～2024 年 7 月

イタリア人国際交流員マッテオが段十ろうでイタリア料理教室を開催

2024 年（令和 6 年）

1 月～3 月

イタリア人国際交流員マッテオがイタリア語教室を開催

7 月 28 日

姉妹都市締結 50 周年プレイベントとして、情報館においてイタリア映画「帰れない山」特別上映会を開催

10 月 26 日～11 月 30 日

「第 8 回イタリアンフェア in 十日町 2024」を開催。24 日にキナーレでタヴォラータを開催

10 月

キルト展とコモ通り商店街がコラボレーションした「コモ通り商店街キルトバナーコンテスト」を開催

2025 年（令和 7 年）

1 月 1 日

コモ市ソチャーレ劇場で開かれたファミリア・コマスカ協会主催の第 36 回ニューイヤーコンサートで、ソプラノ歌手の東郷あゆみさんが熱唱

5 月 17 日～18 日

コモ市において姉妹都市提携 50 周年と日本をテーマにしたイベント「ベッレツツェ・インテリオーリ」（内面の美しさ）を開催。当イベントにあわせ、ファミリア・コマスカ協会では「キモノ・ディ・インカント」の着物展示会、日伊文化協会道しるべでは県知事邸においてコモ市学生デザインゆかたと下絵の展示会を開催

7 月 4 日

十日町・コモ姉妹都市交流会が後援し、ホテルベルナティオにおいてソプラノ歌手の東郷あゆみさんがロビーコンサートを行う。

7 月 19 日

ファミリア・コマスカ協会が主催し、50 周年記念行事の一環としてコモ市の新ソルマノの天文台で「七夕」のイベントを行う。

11 月 1 日～30 日

「第 9 回イタリアンフェア in 十日町 2025」を開催。15 日にキナーレでタヴォラータを開催